
「主体的に取り組み，高め合う子ども」の育成

***** 旭川市立緑が丘小学校 令和6年度 学校評価 結果と考察 *****



寒冷の候，保護者の皆様におかれましては，ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。短い3学期の日々を大切にしながら，年度の締めくくりを目指して教育活動を推進しているところでございます。どうぞ，変わらぬご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

さて，2学期末に今年度の学校教育活動に関するアンケートをご依頼申し上げましたところ，ご多用な時節にもかかわらず，たくさんのご協力をいただきましたことに心よりお礼申し上げます。保護者の皆様から賜りました評価は，教職員自身の評価，児童へのアンケート調査，学校評価者（学校運営協議員）からの評価と合わせまして，以下のとおりまとめさせていただきました。また，保護者の皆様からお寄せいただいた記述による評価は，総数39件にも及びました。多岐にわたるご意見やご要望，ご示唆は，大変貴重なものとして受け止めております。今後の教育活動の改善に生かし，次年度の教育計画を構想するための重要な資料とさせていただきます。

子どもたちの1年間の変容や成長を的確に把握し，本年度の重点目標である「主体的に取り組み，高め合う子どもの育成」を完結してまいります。

引き続きご支援をよろしくお願いいたします。

令和7年2月3日 旭川市立緑が丘小学校 校長 内藤 奏子

1 評価者について

今回の学校評価は、教職員(17)による自己評価のほか、児童(174)、保護者(124)及び、学校評価者(学校評議員)(3)のアンケート調査への協力で実施しました。今年度は、運動会や学習発表会、地域参観日等の行事等で学校運営協議会員の方に来校いただいた際に、子どもたちの取り組んでいる姿を直接ご覧いただき評価していただきました。項目の中で、なかなか評価が困難な部分もありますが、教育活動について貴重なご意見もいただいております。

2 評価項目・評価の観点について

評価項目について、教育目標や年度の重点を踏まえたものとなるようにしています。また、経年で比較評価を実施していることもあり大幅な評価内容の変更はありませんが、ここ数年の教育活動の状況を鑑みて、今年度は項目の一部を整理しました。評価項目の内容によって「教職員」「学校評価者」に限定したものもあります。また、児童の評価観点は、発達段階に応じた設問の文章表記としています。

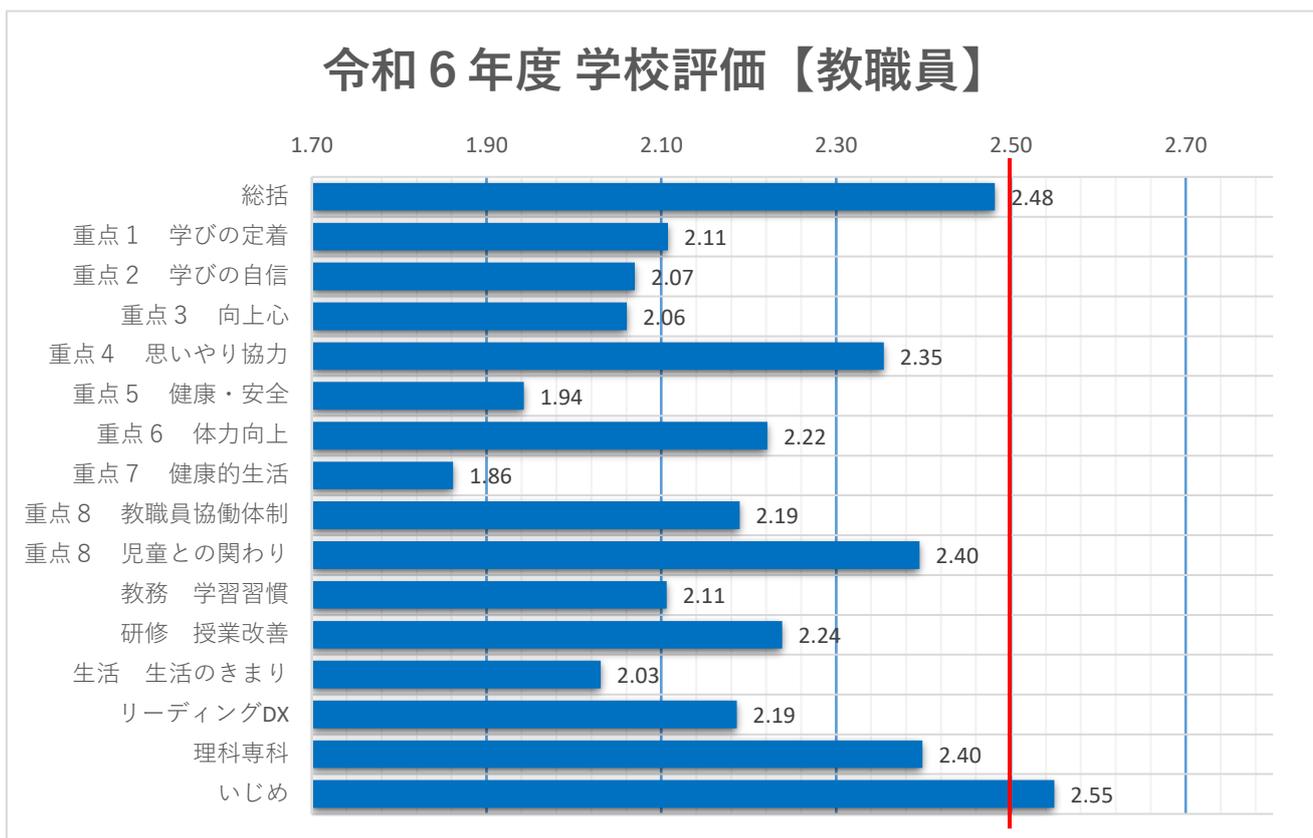
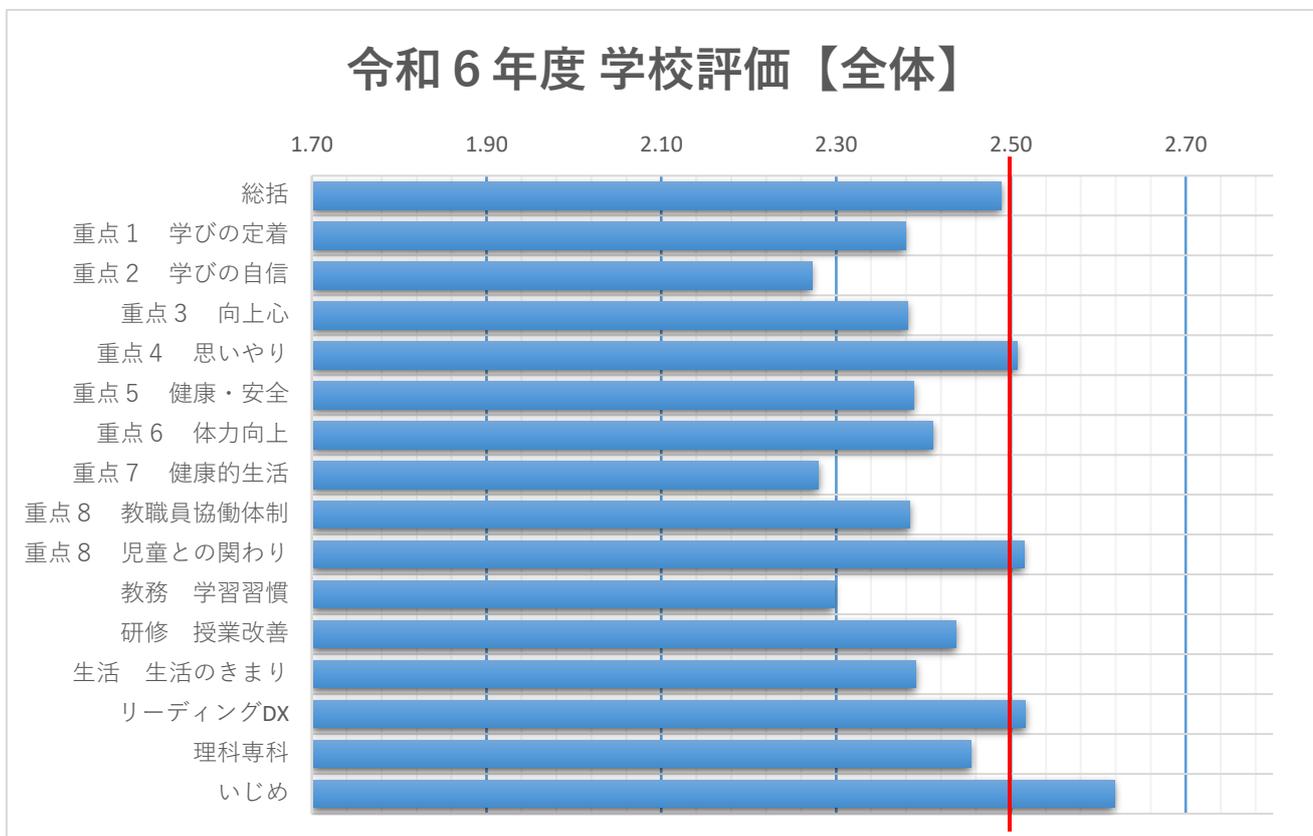
3 評価の規準について

①各評価者には、そう思う(4ポイント)、ややそう思う(3ポイント)、あまり思わない(2ポイント)、思わない(1ポイント)の4段階で評定してもらいました。

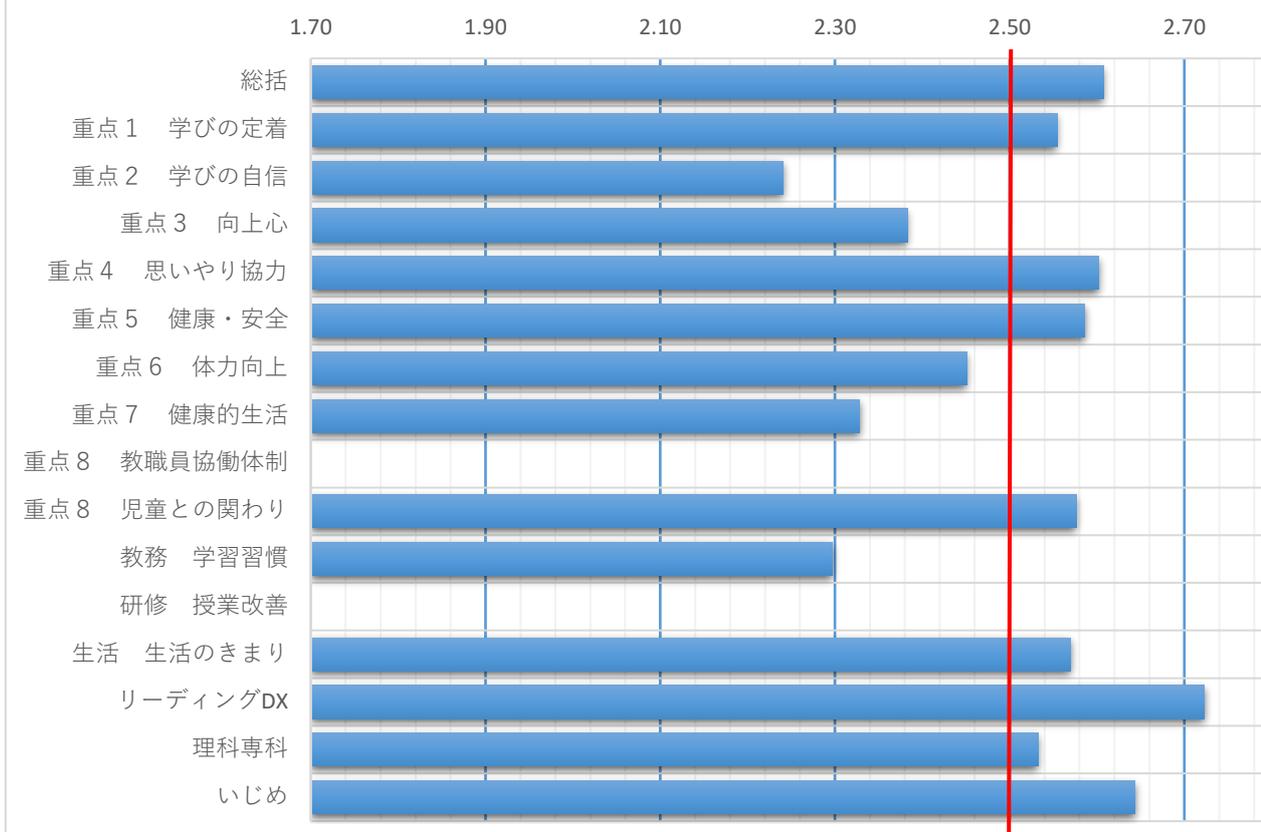
項目	評価の観点
総括	総括評価指標 「学校に来ることが楽しいですか」
重点1 学びの定着	【学校教育目標】 「考える子ども」深く考え 学習したことがよくわかり身に付けさせる指導
重点2 学びの自信	【学校教育目標】 「考える子ども」 お互いのよさを生かせる協働的な学習指導の工夫
重点3 向上心	【学校教育目標】 「豊かな子ども」 自分の行いや暮らしに向き合い、自分のよさに気付かせ、自信につなげる指導
重点4 思いやり・協力	【学校教育目標】 「豊かな子ども」(道徳)認め合い 友達との豊かな関わりへの意識を高める指導
重点5 健康・安全	【学校教育目標】 「強い子ども」最後までやり遂げる 安心して学べる環境づくり
重点6 体力向上	【学校教育目標】 「強い子ども」 体力を高める意識や意欲を育てる指導
重点7 健康的な生活	【学校教育目標】 「強い子ども」 健やかな生活や体づくりへの意欲を高める指導
重点8 ① 教職員協働体制	【学校体制づくり】 職員が一体となって、年度重点の達成や教育の充実を図る職員体制
重点8 ② 児童との関わり	【学校体制づくり】 働き方改革の目的 子どもに向かい合う時間を確保するための業務の精選
教務 学習習慣	【望ましい学習習慣づくり】 最後までやり遂げる 効果的な宿題、生活習慣、家庭との連携
研修 授業改善	【学びを深める授業づくり】 (授業改善)深く考え 資質・能力を明確にした指導計画
生活 生活のきまり	【落ち着いた学級づくり】 認め合い 学習規律の定着、人間関係づくり、教室環境整備
リーディング DX	【ICT 活用】 1人1台端末の効果的な活用 働き方の改革による教育効果の最大化
理科専科指導	【理科専科教員の効果】 (3年生以上) 理科の学習への意欲、理解度
いじめ防止対策	【いじめ対応】 教職員は、いじめ防止基本方針に基づき、いじめを適切に認知し迅速かつ組織的に対応している。

②集計結果については、評価者ごとの比較条件を平準化するために、中央値を 2.50 ポイントとし、標準化しています。つまり、2.50 ポイントがちょうど全項目で規準となりますので、これとの増減により各評価を比較することができます。また、全ての評価者グループの規準を 2.50 にそろえることで、他のグループとの比較を容易としております。

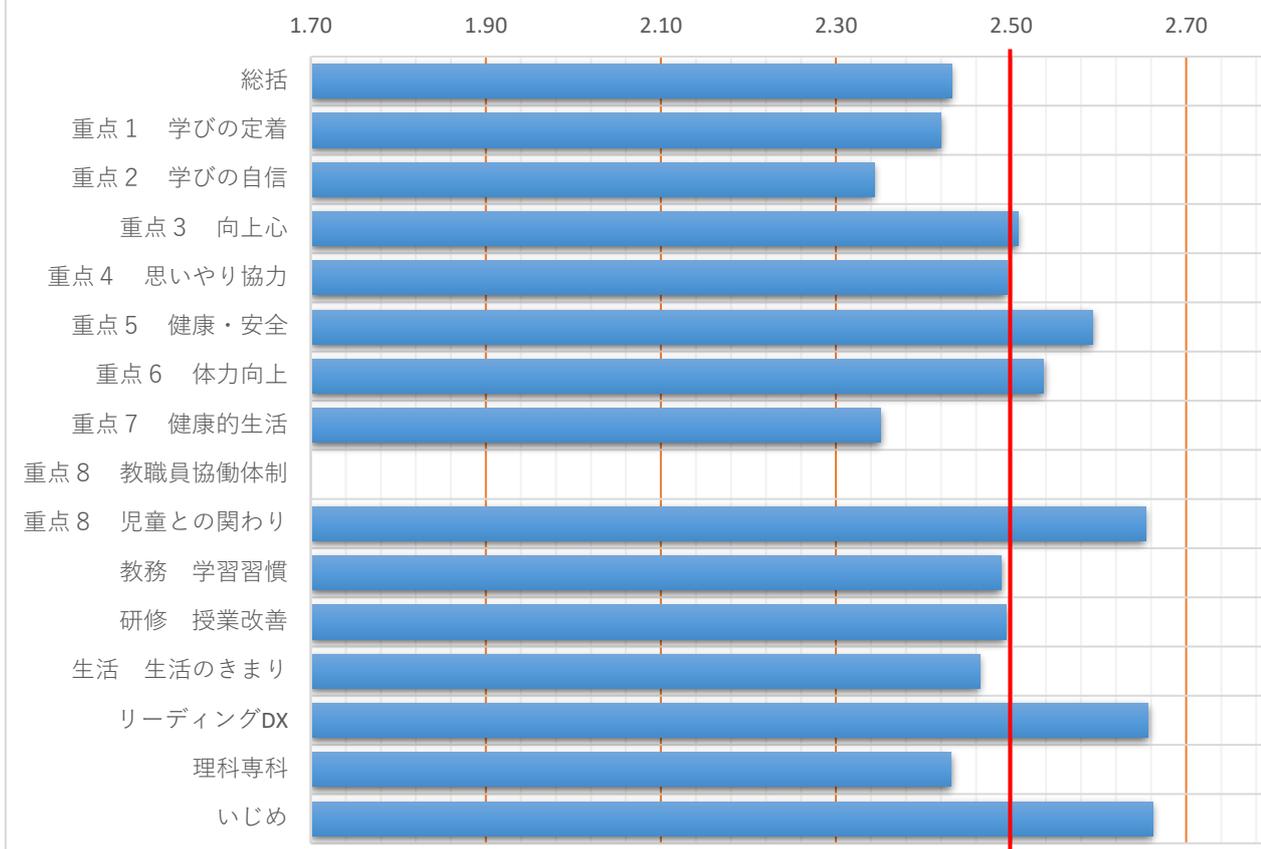
4 各評価結果について



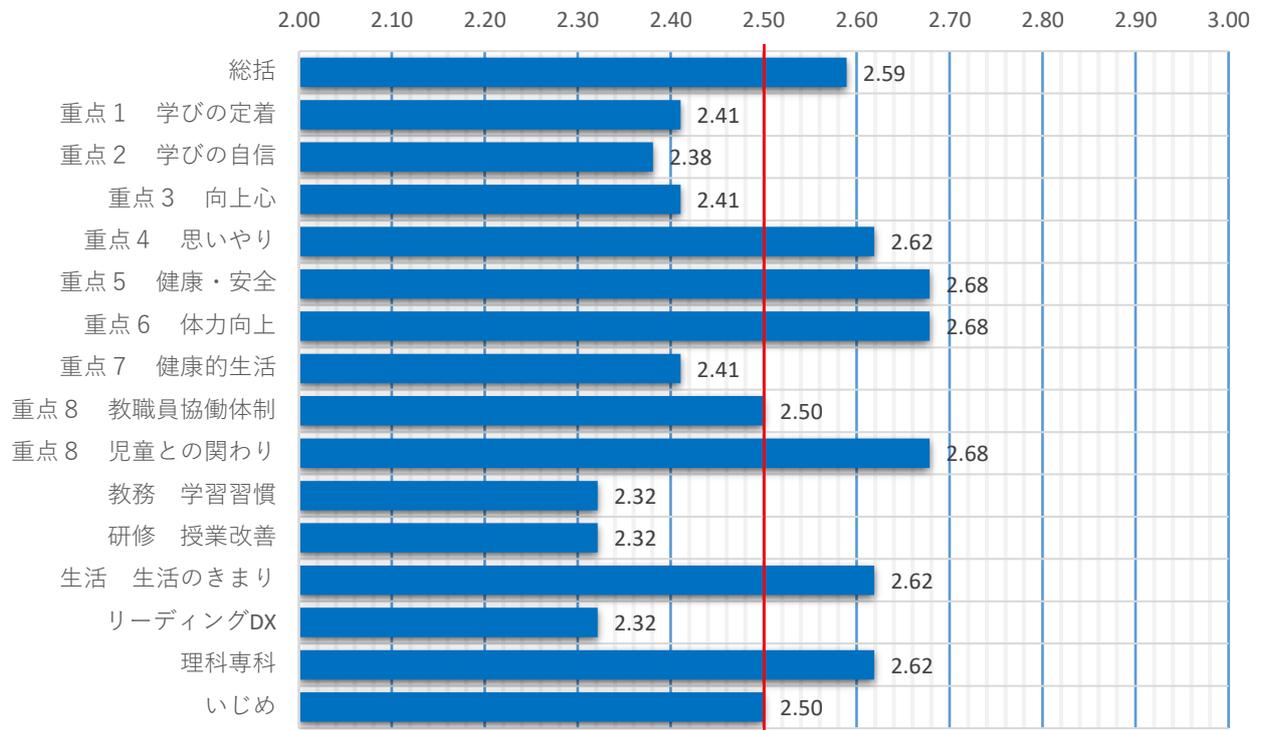
令和6年度 学校評価【保護者】



令和6年度 学校評価【児童】



令和6年度 学校評価【学校運営協議員】



【今後の取組の参考として】

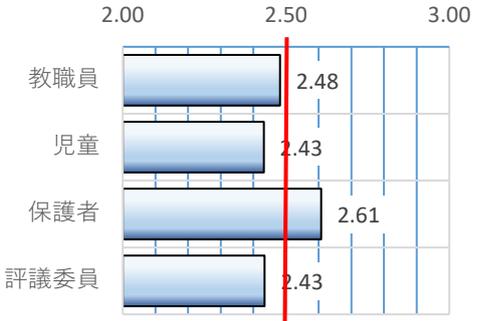
- ・視力、運動能力の低下が報じられています。視力（タブレット、スマートフォン、TVとの関係）や運動能力（肥満傾向等）、学年信仰との関係からも分析や対策が必要かと思えます。
- ・いじめ対策委員会を常設し、全職員がいじめ問題衣を日頃から主体的に学習する機会を設けてはどうか。

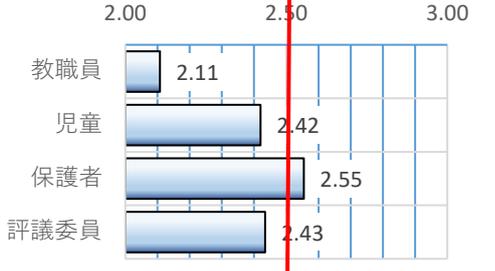
【授業参観から】

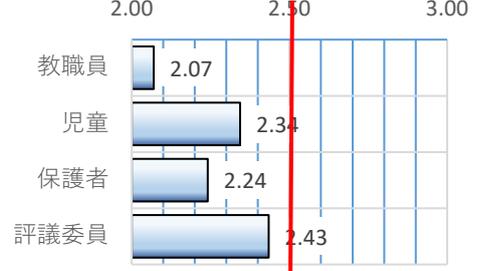
- ・先生方の子どもたちへの言葉かけや指導時の口調など対応がとても優しい。
- ・道徳の実践力についての育ちの様子が評価できるとよい
- ・学年を経る毎に、落ち着いた様子で学習に臨んでいる。
- ・子ども同士の関わり合いも増えてきた。

5 項目ごとの分析結果について

〔教〕：教職員から 〔保〕：保護者から 〔□年児〕：児童から 〔運〕：学校運営協議会員からの記述評価

【1】 総括	【年度の重点目標：夢や希望の実現に向け、明るく健康的に生きる子どもの育成】 本校の児童は、学校生活を楽しんでいる。										
 <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価者</th> <th>評価値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教職員</td> <td>2.48</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>2.43</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>2.61</td> </tr> <tr> <td>評議委員</td> <td>2.43</td> </tr> </tbody> </table>	評価者	評価値	教職員	2.48	児童	2.43	保護者	2.61	評議委員	2.43	主な記述評価 〔保〕 嫌がることなく、楽しそうな様子です。 〔保〕 1番近くにいる先生方の指導、生活を見本にして体に吸収し楽しく学校生活を送っています。先生達の温かさを体で感じているからこそ豊かな子ども達が多いのだと思います。 〔保〕 周りの子達が温かく接してくれるおかげで、うまくいかないことにも何とか対応できていて、ありがたいと思います。
評価者	評価値										
教職員	2.48										
児童	2.43										
保護者	2.61										
評議委員	2.43										
考察・今後の改善	保護者からの評価が高く児童の評価は低いという結果となりました。今年度は行事をはじめ学習においても異学年交流などが増え、協力しながら学習や活動に積極的に取り組む姿が見られています。今後も子どもたちが安全で安心して登校できるよう様々な教育活動の目的を大切にしていって進めていくよう努めていきます。										

【2】 重点1 学びの定着	【学校教育目標「考える子ども」：確かな学びづくり】 本校の児童は、学習したことをよく理解し、身に付けている。										
 <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価者</th> <th>評価値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教職員</td> <td>2.11</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>2.42</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>2.55</td> </tr> <tr> <td>評議委員</td> <td>2.43</td> </tr> </tbody> </table>	評価者	評価値	教職員	2.11	児童	2.42	保護者	2.55	評議委員	2.43	主な記述評価 〔保〕 授業前にはわかっていなかったことも、授業を重ねていくうちに少しずつ理解し、最終的にはテストも解けるようになっていた。また、グリーンの給食の献立を考える授業では自分がみんなと考えた献立が実際に給食に出て、実感出来ていたと思う。 〔保〕 宿題の様子のほか、文章を書くことができるようになったことに成長を感じます。
評価者	評価値										
教職員	2.11										
児童	2.42										
保護者	2.55										
評議委員	2.43										
考察・今後の改善	「教職員」「児童」「保護者」の評価に差が見られる結果となりました。個別最適な学びと協働的な学びを充実させ、子どもたちが主体的に学ぶことができるよう授業改善を進めています。今後もICTの効果的な活用により、学んだことを習熟する時間を生み出し、学習内容の定着を図ることにつなげていきます。										

【3】 重点2 学びの自信	【学校教育目標「考える子ども」：確かな学びづくり】 本校の児童は、自分の学習に自信を付けている。										
 <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価者</th> <th>評価値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教職員</td> <td>2.07</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>2.34</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>2.24</td> </tr> <tr> <td>評議委員</td> <td>2.43</td> </tr> </tbody> </table>	評価者	評価値	教職員	2.07	児童	2.34	保護者	2.24	評議委員	2.43	主な記述評価 〔保〕 子どもから聞けないような話（本人の頑張りがかかる様子）を、メモでいただいたことがありました。お忙しい中、小さなことにも目を向けていただき、家庭まで伝えてもらえるのは、本当にありがたいなと思いました。 〔保〕 授業中のご指導や宿題の取組を通して、子ども本人がつまずきを感じることなく基礎基本を定着させていると思います。
評価者	評価値										
教職員	2.07										
児童	2.34										
保護者	2.24										
評議委員	2.43										
考察・今後の改善	全体的には2.5を下回り「保護者」と「教師」からの評価が低いという結果となりました。日頃の授業の中で「できた」「わかった」という思いを積み重ね、自信をもって学習に取り組むことができるよう指導を工夫していきます。										

【4】 重点3 向上心	【学校教育目標「豊かな子ども」：豊かな心づくり】 本校の児童は、自分の行いやくらしを高めようとしている。										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価者</th> <th>評価値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教職員</td> <td>2.06</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>2.51</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>2.38</td> </tr> <tr> <td>評議委員</td> <td>2.58</td> </tr> </tbody> </table>	評価者	評価値	教職員	2.06	児童	2.51	保護者	2.38	評議委員	2.58	<p>主な記述評価</p> <p>〔保〕学校での出来事など、よく話をしてくれるので、楽しんだなと感じております。</p> <p>〔保〕先生や友達と良い関係が築けるように、自分が出来ることを考えてしているようです。</p>
評価者	評価値										
教職員	2.06										
児童	2.51										
保護者	2.38										
評議委員	2.58										
考察・今後の改善	より良い姿を目指して、目標をもち根気強く取り組む態度は、教育活動以外においても大切なことです。今後も、子どもたち自身が自分に最適である目標を設定することや、それに向けて意欲的に取り組めるよう、指導を工夫していきます。										

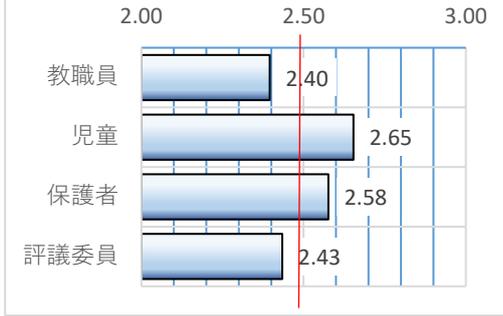
【5】 重点4 思いやり	【学校教育目標「豊かな子ども」：豊かな心づくり】 本校の児童は、互いに思いやり、助け合って活動している。										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価者</th> <th>評価値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教職員</td> <td>2.35</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>2.50</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>2.60</td> </tr> <tr> <td>評議委員</td> <td>2.58</td> </tr> </tbody> </table>	評価者	評価値	教職員	2.35	児童	2.50	保護者	2.60	評議委員	2.58	<p>主な記述評価</p> <p>〔教〕周りの友達に対する言葉づかいや行動で、一緒に活動しようという様子がよく見られる。</p> <p>〔4年児〕学年交流の機会を多くする。</p> <p>〔4年児〕みんなが平和に暮らすためにどうすればいいかをクラスで話し合う。</p> <p>〔5年児〕相手の気持ちを考え、自分の考えと向き合う。</p> <p>〔6年児〕他学年と交流する時間をもっと作ると良いと思います。</p>
評価者	評価値										
教職員	2.35										
児童	2.50										
保護者	2.60										
評議委員	2.58										
考察・今後の改善	「保護者」からの評価が高く、「教職員」からの評価が低くなっており、3者において評価に差があることが分かります。また、児童からは異学年交流の大切さについて意見がいくつかありました。これからも相手の立場に立って考える指導を継続し、縦割り班清掃や交流授業など異学年交流を通して時間できるよう努めていきます。										

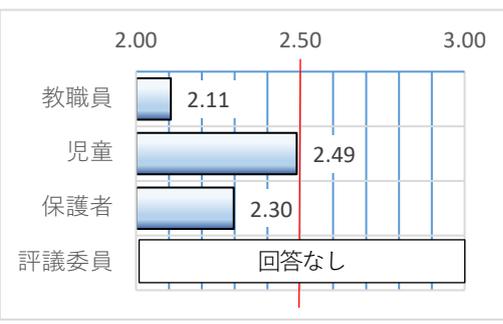
【6】 重点5 健康・安全	【学校教育目標「強い子ども」：健康な体力づくり】 本校の児童は、健康や安全を意識して、よりよい生活習慣を身に付けている。										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価者</th> <th>評価値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教職員</td> <td>1.94</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>2.59</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>2.59</td> </tr> <tr> <td>評議委員</td> <td>2.43</td> </tr> </tbody> </table>	評価者	評価値	教職員	1.94	児童	2.59	保護者	2.59	評議委員	2.43	<p>主な記述評価</p> <p>〔保〕毎年、視力低下しているのが心配です。タブレット学習や家でのパソコン、勉強などで近くで物を見る時間が長いので、これ以上悪くならないでほしいなと思っています。</p>
評価者	評価値										
教職員	1.94										
児童	2.59										
保護者	2.59										
評議委員	2.43										
考察・今後の改善	「教職員」からの評価が低くなっている要因の一つとして、時期的に風邪が多かったり、体育授業や休み時間などでのけがが多かったりしたためと考えられる。今後も健康で安全な学校生活を送ることができるよう、日頃の風邪やけが防止のための環境づくりや、準備運動やけがをしないための注意点を考えるなどの具体的な指導を継続し、子どもたちの危機意識を高めつつ、努めていきます。										

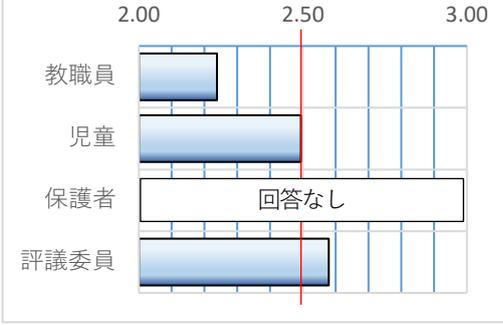
【 7 】 重点 6 体力向上	【学校教育目標「強い子ども」：健康な体力づくり】 本校の児童は、体づくりに進んで取り組み、運動の成果や体力の高まりを感じている。										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教職員</td> <td>2.22</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>2.54</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>2.45</td> </tr> <tr> <td>評議委員</td> <td>2.43</td> </tr> </tbody> </table>	対象	評価	教職員	2.22	児童	2.54	保護者	2.45	評議委員	2.43	主な記述評価 [2年生]外に行く時間を作る。
対象	評価										
教職員	2.22										
児童	2.54										
保護者	2.45										
評議委員	2.43										
考察・今後の改善	「教職員」「保護者」からの評価は2.5を下回っています。期間を決めながら「縄跳び」や「がんばりマラソン」等学校全体として体力向上を図るための取組を実施しています。今後は、目標を決めて頑張る姿に加え、誰もが楽しく運動に向かう姿も大切にして具体的な取組や体育の学習を工夫して、子どもたちが更に体力向上を実感できるように努めていきます。										

【 8 】 重点 7 健康的な生活	【学校教育目標「強い子ども」：健康な体力づくり】 本校の児童は、けじめのある生活や健康な生活を身につけている。										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教職員</td> <td>1.86</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>2.35</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>2.33</td> </tr> <tr> <td>評議委員</td> <td>回答なし</td> </tr> </tbody> </table>	対象	評価	教職員	1.86	児童	2.35	保護者	2.33	評議委員	回答なし	主な記述評価 (保) 早寝早起きなど規則正しい生活が習慣付いている
対象	評価										
教職員	1.86										
児童	2.35										
保護者	2.33										
評議委員	回答なし										
考察・今後の改善	「教職員」からの評価が1.86と2.0を下回りかなり低くなっています。学校の授業において、子どもたちがより良い学びとなるためにも、基盤となる生活習慣が大切となってきます。今後も、子どもたちのより良い成長とつながるよう、「生活リズムチェックシート」や「健康診断」などを基に、家庭と協力して取り組んでいきます。										

【 9 】 重点 8 教職員協働体制	【学校体制づくり】 教職員は、重点目標の実現と教育の充実のために、温度差なく協働して取り組んでいる。										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教職員</td> <td>2.19</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>回答なし</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>回答なし</td> </tr> <tr> <td>評議委員</td> <td>2.58</td> </tr> </tbody> </table>	対象	評価	教職員	2.19	児童	回答なし	保護者	回答なし	評議委員	2.58	主な記述評価
対象	評価										
教職員	2.19										
児童	回答なし										
保護者	回答なし										
評議委員	2.58										
考察・今後の改善	「教職員」からの評価が2.5を大きく下回りました。年々進む学級数の減少に伴い教職員数も減る中で教育水準を保っていくため、今年度はリーディングDX事業の2年次として校務のDXを中心に取組を進めてきました。今後も、「報・連・相」を徹底しながら、子どもたちのより良い学びにつながるより良い協働体制の構築に努めていきます。										

【10】 重点8 児童との関わり	【学校体制づくり】 教職員は、子どもの話をよく聞き、ともに活動している。										
 <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価者</th> <th>評価値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教職員</td> <td>2.40</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>2.65</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>2.58</td> </tr> <tr> <td>評議委員</td> <td>2.43</td> </tr> </tbody> </table>	評価者	評価値	教職員	2.40	児童	2.65	保護者	2.58	評議委員	2.43	主な記述評価 〔保〕 息子は担任の先生が大好きです。いつも話を聞いていただき、ありがとうございます。 〔保〕 学校へ行くと、先生方や職員の方が子どもの学校での様子について教えてくださいるので、子どもたち一人ひとりのことをよく見てくださっていると感じ、安心している
評価者	評価値										
教職員	2.40										
児童	2.65										
保護者	2.58										
評議委員	2.43										
考察・今後の改善	「教職員」の評価が低くなっている要因の一つとして、一人一人の子どもへ目を向け、声をかけていかなければならないという意識があると考えます。学習や校務のDXの推進と共に、今後、今以上に一人一人の子どもたちと関わる時間を大切にしていこう努めていきます。										

【11】 教務 学習習慣	【学校体制づくり】 教職員は、児童の学習習慣の定着を図っている。										
 <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価者</th> <th>評価値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教職員</td> <td>2.11</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>2.49</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>2.30</td> </tr> <tr> <td>評議委員</td> <td>回答なし</td> </tr> </tbody> </table>	評価者	評価値	教職員	2.11	児童	2.49	保護者	2.30	評議委員	回答なし	主な記述評価 〔保〕 決めた時間の学習は日々のルーティンとして定着しているので。 〔保〕 学習習慣は身につけていますが、四年生がやるべき家庭学習内容が親も含めあまり定まっていません。家庭学習ノートの内容が自由な事に不安があります。何をすべきか学ぶべきか、と考える所も含めて家庭学習なのかもしれませんが、内容を定める考える思いつく…という作業の時間が長いです。独自に購入したドリルも認めていただけると少し助かります。
評価者	評価値										
教職員	2.11										
児童	2.49										
保護者	2.30										
評議委員	回答なし										
考察・今後の改善	3者とも評価が2.5を下回り、「教職員」からの評価が2.11と低くなっています。家庭学習の取り組み方について、定期的に子どもたちと確認し、実態に合う取組となるよう改善が必要です。今後も、具体的な内容・方法など取り組み方について家庭と共有し、よりよい家庭での学習習慣の定着につながるよう支援していきます。										

【12】 研修 授業改善	【授業改善】 認め合いを取り入れ粘り強く取り組むための授業改善により、自己肯定感を高める学習指導を工夫している。										
 <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価者</th> <th>評価値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教職員</td> <td>2.24</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>2.50</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>回答なし</td> </tr> <tr> <td>評議委員</td> <td>2.40</td> </tr> </tbody> </table>	評価者	評価値	教職員	2.24	児童	2.50	保護者	回答なし	評議委員	2.40	主な記述評価
評価者	評価値										
教職員	2.24										
児童	2.50										
保護者	回答なし										
評議委員	2.40										
考察・今後の改善	「教職員」からの評価が2.24と低くなっています。「学ぶ楽しさを見つけ、自ら学ぶ子の育成」をテーマに研修を実施して授業改善を進めてきました。今後も、今年度の取組の成果と課題を整理しよりよい形となるよう努めていきます。										

【13】 生活 生活のきまり	【児童の実態】 本校の児童は、生活のきまり（緑小っ子のくらし等）を守っている。										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価者</th> <th>評価値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教職員</td> <td>2.03</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>2.46</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>2.57</td> </tr> <tr> <td>評議委員</td> <td>2.50</td> </tr> </tbody> </table>	評価者	評価値	教職員	2.03	児童	2.46	保護者	2.57	評議委員	2.50	主な記述評価 〔保〕とくに友達と遊ぶ時間や、家庭学習の時間など、緑小っ子のくらしのきまりに沿い、意識して行動出来るようになっている。
評価者	評価値										
教職員	2.03										
児童	2.46										
保護者	2.57										
評議委員	2.50										
考察・今後の改善	「教職員」「児童」の評価が低く、特に「教職員」の評価は2.03と低くなっています。日常の暮らしの中で、教職員間で指導内容の共有を一層図り、子どもたちが良い生活習慣を積み重ね、落ち着いて学習や生活ができるよう努めていきます。										

【14】 リーディング DX	【児童の実態】 本校の児童は、授業で考えを整理したり友達と考えを交流したりすることや家庭学習で端末を効果的に活用している。										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価者</th> <th>評価値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教職員</td> <td>2.19</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>2.66</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>2.72</td> </tr> <tr> <td>評議委員</td> <td>2.50</td> </tr> </tbody> </table>	評価者	評価値	教職員	2.19	児童	2.66	保護者	2.72	評議委員	2.50	主な記述評価 〔教〕子どもたちみんなタブレットを上手に活用することができ、他者参照などで友達の意見を参考にして考えをまとめることができるようになってきている。 〔保〕タブレット学習はいつも楽しみにしているようで、使い方や勉強することを教えてくれ自発的に取り組んでいます。
評価者	評価値										
教職員	2.19										
児童	2.66										
保護者	2.72										
評議委員	2.50										
考察・今後の改善	「児童」「保護者」の評価が2.6以上と高い一方で、「教職員」からの評価が2.19と低くなっています。子どもたちのタブレットの基本的操作スキルは高まっているという実態です。それを基盤に、今後は効果的な活用法について続けて実践し、加えて情報の時間を確実に実施して情報モラルや情報活用能力の育成に努めていきます。										

【15】 理科専科指導	【理科専科指導の成果】 本校の児童は、理科の学習に意欲的に取り組み、自信を深めている。										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価者</th> <th>評価値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教職員</td> <td>2.40</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>2.43</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>2.53</td> </tr> <tr> <td>評議委員</td> <td>回答なし</td> </tr> </tbody> </table>	評価者	評価値	教職員	2.40	児童	2.43	保護者	2.53	評議委員	回答なし	主な記述評価 〔保〕興味関心が深まるような理科の話や実験をしてくださっているようで、うちの子どもは理科が大好きだと言っています。 〔保〕学校の理科は、本人は好きで、授業もわかりやすいと言っていますし、実験も楽しんでやっているようです。ただ、家で学習すると、実験のいろいろな応用問題は正答率が決して良いとはいえません。実験の応用力を身につけるためにはどうしたらよいのか？何をしたら伸ばせるのかな？と思っています。
評価者	評価値										
教職員	2.40										
児童	2.43										
保護者	2.53										
評議委員	回答なし										
考察・今後の改善	「教職員」「児童」からの評価が2.5を下回っています。専科教諭による継続した指導により、児童の系統的学習や実験など時間を伴った学習の充実、より専門的な指導の保障など、様々な効果が期待できます。専科教諭と連携を図りながら、より良い理科学習の充実に努めていきます。										

<p>【16】 いじめ防止対策</p>	<p>【いじめ対応】 教職員は、いじめ防止基本方針に基づき、いじめを適切に認知し迅速かつ組織的に対応している。</p>											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教職員</td> <td>2.55</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>2.66</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>2.64</td> </tr> <tr> <td>評議委員</td> <td>回答なし</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	評価	教職員	2.55	児童	2.66	保護者	2.64	評議委員	回答なし	<p>主な記述評価</p>	<p>〔教〕 起こった問題について教職員と迅速に共有、対応し行動しているため</p> <p>〔保〕 いつもお友達のことを楽しそうに話したり、1人である子に声をかけたりしていると自分で話している。</p> <p>〔4年生〕 いじめをなくすために友達や自分自身を大切にしている。</p> <p>〔5年児〕 楽しくなるためには、他の学年と交流、遊びをして仲良くなったらいじめも少なくなるし、一人の人がすくなくなる。</p> <p>〔6年児〕 差別をなくす</p>
対象者	評価											
教職員	2.55											
児童	2.66											
保護者	2.64											
評議委員	回答なし											
<p>考察・今後の改善</p>	<p>3者共に2.5以上の評価となりました。いじめ防止対策基本方針を基に、学校いじめ防止対策推進委員会を中心として、「いじめ見逃し0」を実現していくよう、アンケートの実施や防止のための具体的な取組等、組織的に取り組んでいるところです。毎週、生徒指導交流会として各学級での子どもたちの様子などについて情報の共有にも努めています。今後もいつでも起こりうるという高い危機意識をもちながら、児童一人一人がより良い人間関係を築くことができるよう、家庭や地域、外部機関と連携しながら継続して取り組んでいきます。</p>											

寒暖対策やトイレの改修・営繕、エアコンの設置などの学習環境と生活環境の改善、また、給食メニューの内容等、給食に関するという要望などは昨年から引き続き出されてきました。本校校舎は、昨年度築50年を経て老朽化が進み、決してよい環境とはいえません。今後も教育施設・環境の改善のために、引き続き関係機関（旭川市教育員会）へ改善を要請していきます。

そして、保護者の皆様からは、本年度の教育実践の成果や子どもたちの成長と変容について、肯定的、共感的なご意見を多数いただきましたが、課題となるご意見も頂きました。これらは、今後の教育活動の改善に向けて貴重な意見として参考にさせていただきたいと思っております。世の中の価値観や教育観が多様化している中で、これほどまでに本校の方針や実践にご理解とご賛同をいただけることは極めて希なことで、大変心強く感じております。

ご家庭と地域の皆様からの信頼があるからこそ、子どもたちは学校の指導を信じて健やかに育ち、学校はそんな子どもたちの成長に確かな手応えを感じて充実した教育活動を推進できるのです。

本校では、これからも、この相乗効果を大切にしていまいります。